

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIスリランカ短期国債ファンド(年2回決算型)」は、2018年12月17日に第4期決算を行いました。

当ファンドは、主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資することで、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行いました。ここに期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第4期末(2018年12月17日)

基準価額	8,874円
純資産総額	209百万円
第4期	
騰落率	△ 5.1%
分配金(税込み)合計	200円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

# SBIスリランカ短期国債ファンド (年2回決算型)

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第4期(決算日2018年12月17日)

作成対象期間(2018年6月19日～2018年12月17日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

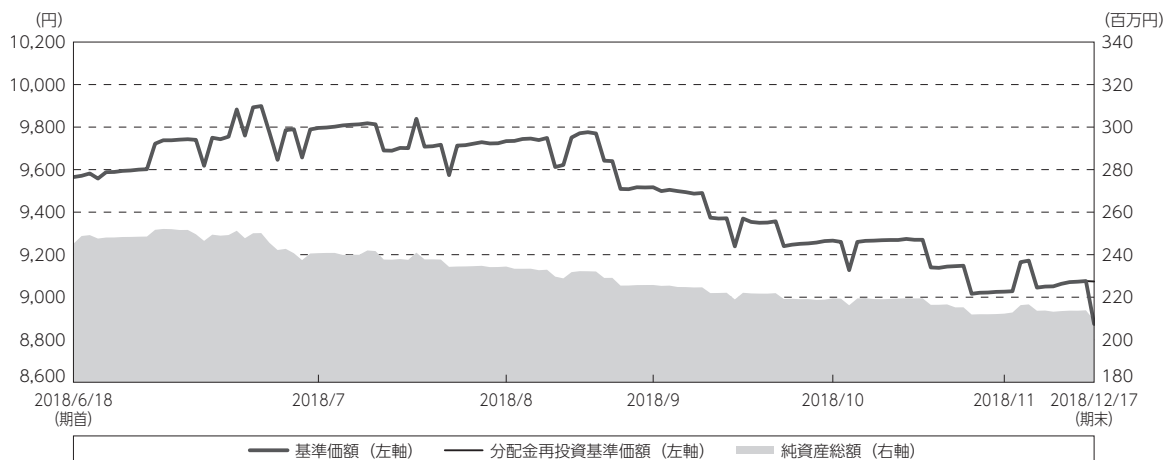
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。  
<http://www.sbiam.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2018年6月19日～2018年12月17日)



期首：9,565円

期末：8,874円 (既払分配金(税込み)：200円)

騰落率：△ 5.1% (分配金再投資ベース)

- (注1) 当ファンドは主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年6月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、安定したスリランカの国内経済を背景とした高利回り、外国為替市場での円安寄与によって、7月中旬に期中の高値を付けました。その後は、新興国通貨全般が円高基調で推移し、スリランカ国債市場においても、金利の上昇(債券価格は下落)傾向が続きました。10月にはシリセナ大統領が、ウィクラマシンハ首相を解任し、ラジャパクサ前大統領を後任に指名しましたが、12月にはラジャパクサ氏が辞任しウィクラマシンハ氏を首相に再任するなどスリランカの政治情勢が混乱し、先行き不透明感が強まったため、緩やかな下落基調が続きました。当ファンドの基準価額は期を通じて△5.1%下落(分配金再投資ベース)の8,874円で期末を迎えました。

## 1万口当たりの費用明細

(2018年6月19日～2018年12月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	28	0.293	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 5 )	(0.054)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(21)	(0.226)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	(0.013)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	32	0.335	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 9 )	(0.094)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 )	(23)	(0.241)	開示資料等の作成・印刷費用等
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	60	0.628	
期中の平均基準価額は、9,490円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

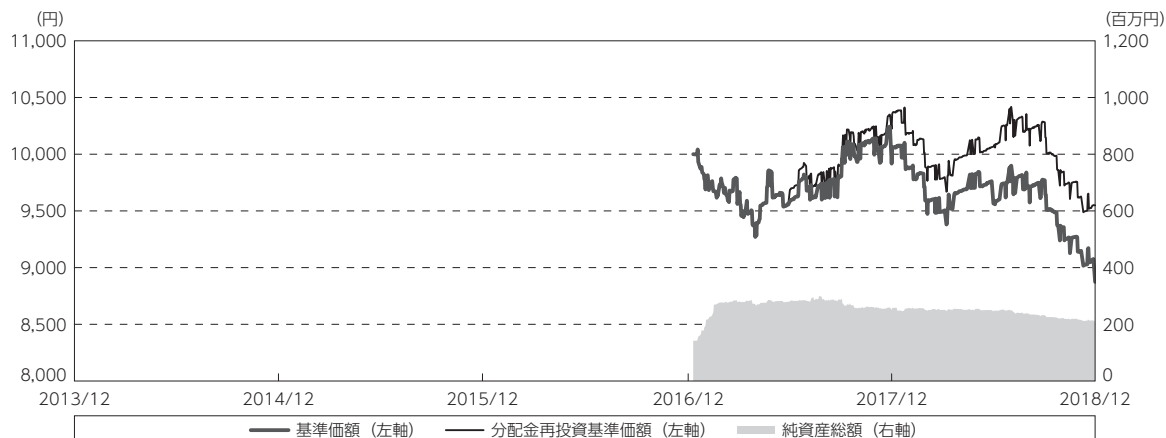
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年12月17日～2018年12月17日)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
(注2) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2016年12月29日から2018年12月17日)のみの記載となっております。

	2016年12月29日 設定日	2017年12月18日 決算日	2018年12月17日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,917	8,874
期間分配金合計(税込み) (円)	—	300	400
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.2	△ 6.6
純資産総額 (百万円)	142	250	209

- (注1) 当ファンドは主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。  
(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
(注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年12月18日の騰落率は設定当初との比較です。

## 投資環境

(2018年6月19日～2018年12月17日)

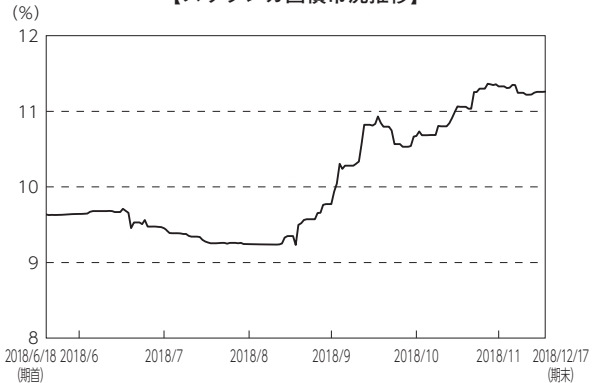
※以下のコメントの内容は、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

## 【スリランカ国債市況】

期の前半は、スリランカ短期国債利回りは上昇（債券価格は下落）基調となりました。トルコ・リラが急落するなど新興国リスクが懸念されたことに加えて、スリランカ・ルピーが対米ドルで急落したことなどが利回り上昇の要因となりました。

期の後半も、スリランカ短期国債利回りは上昇（債券価格は下落）しました。10月にスリランカのシリセナ大統領がウィクラマシンハ首相を経済面での失策などを理由に突如解任しました。ラジャパクサ前大統領を後任に据えることなどを発表し、議会を11月に解散したものの、最高裁は首相解任と議会の解散は違憲との判断を示し、政治的に混迷しました。格付け会社S&P社及びFitch社によるスリランカ国債の格下げ(B+→B)なども、利回り上昇の要因となりました。

【スリランカ国債市況推移】



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成  
※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。

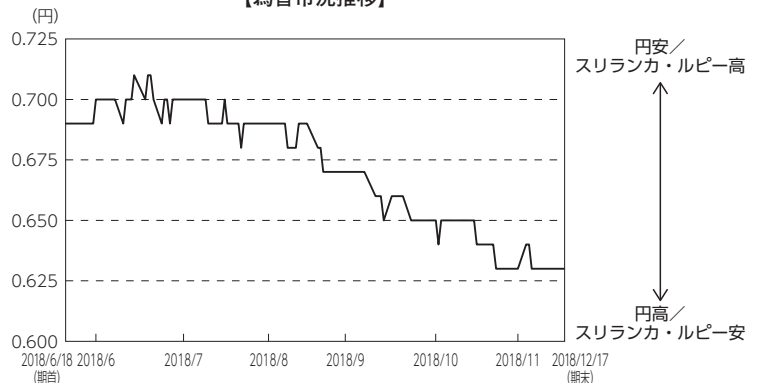
## 【為替市況】

期の前半は、円高基調となりました。株式市場が下落するなどのリスクオフ局面において米ドルが下落し円が上昇したことで、米ドルと概ね連動するスリランカ・ルピーも円に対して下落しました。

期の後半も、円高基調が続きました。スリランカ中央銀行が11月に+0.50%の利上げを行った局面では、スリランカ・ルピーは円に対して横ばい推移となりましたが、政治的な混迷を背景にその後は下落しました。

期を通じてみると、スリランカ・ルピーは円に対して下落しました。

【為替市況推移】



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2018年6月19日～2018年12月17日)

## &lt;当ファンド&gt;

主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## &lt;SBI Bond スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)&gt;

スリランカの短期国債等(国債、政府保証債、政府機関債)及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近11月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

## ポートフォリオ構成

平均残存期間(年)	0.6
平均修正デュレーション(年)	0.5
平均クーポン(%)	10.62
平均直接利回り(%)	10.67
平均最終利回り(%)	11.32
平均格付け	B+

## 資産別構成

債券(%)	92.8%
現金等(%)	7.2%

(注) 現金等には信託報酬及び為替ヘッジに伴う含み損益等も含まれます。

(注1) 平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。

格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。

(注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度(リスクの大きさ)を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

(注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日までを得る受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等、合計額が投資元本に対して1年当たりどの程度となるかを示すものです。

(注4) クーポンは額面金額に対する単年での利息の割合を表します。

(注5) 平均直接利回りは平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。

※上表については、SBI Bond・インベストメント・マネジメント株式会社の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

## &lt;FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)&gt;

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2018年6月19日～2018年12月17日)

当ファンドは主としてSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

(2018年6月19日～2018年12月17日)

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口(元本10,000円)当たり200円(税込み)の収益分配を行うことといたしました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2018年6月19日～ 2018年12月17日
当期分配金	200
(対基準価額比率)	2.204%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	223

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

### <SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようコメントをしています。

スリランカでは、2017年に利払い費用等を除く基礎的財政収支（プライマリーバランス）が黒字になるなど、財政改革が行われており、ファンダメンタルズの改善が見られます。2018年のGDP成長率は4%程度に上昇すると見込まれていることに加えて、インフレ上昇率についても沈静化する見込みです。

債券市場においては、当面は政治的な混迷を背景にボラティリティの高い局面も想定されるものの、相対的に良好なファンダメンタルズを背景に、スリランカ短期国債利回りは安定的に推移することが見込まれます。

為替市場においては、米ドル/円に概ね連動するスリランカ・ルピー/円が、主に米ドルの影響を受けつつも、レンジ内で推移するものと見ています。

こうした環境下において、当ファンドのパフォーマンスは短期的には為替市場の影響を受けて変動する局面も想定されますが、長期的にはスリランカ短期国債の相対的に高いインカム収益を中心にファンドの収益が積み上がっていくことを想定しています。

運用においては、主にスリランカ現地通貨建て短期国債での運用を継続する方針です。残存年数が短くなった銘柄については、一部入れ替えによる長期化も図る予定です。

### <FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。



## お知らせ

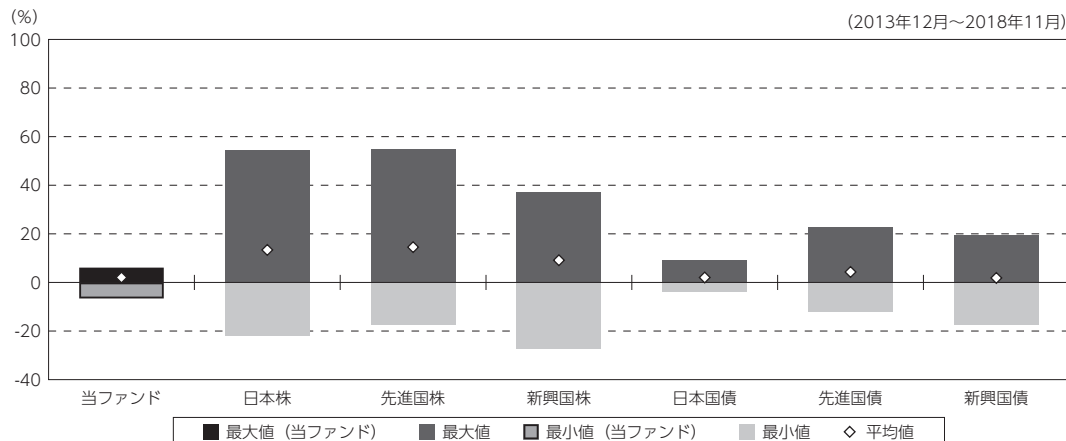
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2016年12月29日）
運用方針	この投資信託は、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」及び「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	主として「SBIボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資するとともに、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざします。
分配方針	毎決算時（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配対象額については委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	6.1	54.4	54.8	37.2	9.3	22.7	19.3
最小値	△ 6.6	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	2.0	13.4	14.5	9.1	2.0	4.3	1.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2013年12月から2018年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、2016年12月29日(設定日)から2018年11月30日のデータを基に算出しております。したがって、代表的な資産クラスとの比較対象期間が異なります。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注5) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年12月17日現在)

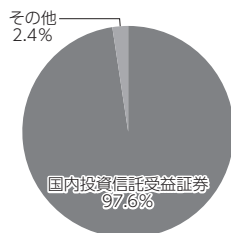
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第4期末
SBIボンド スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	97.1%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.5%
組入銘柄数	2銘柄

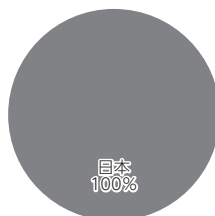
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

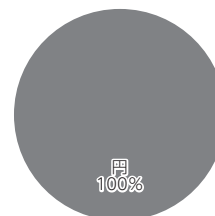
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 純資産等

項目	第4期末
	2018年12月17日
純資産総額	209,009,342円
受益権総口数	235,524,445口
1万口当たり基準価額	8,874円

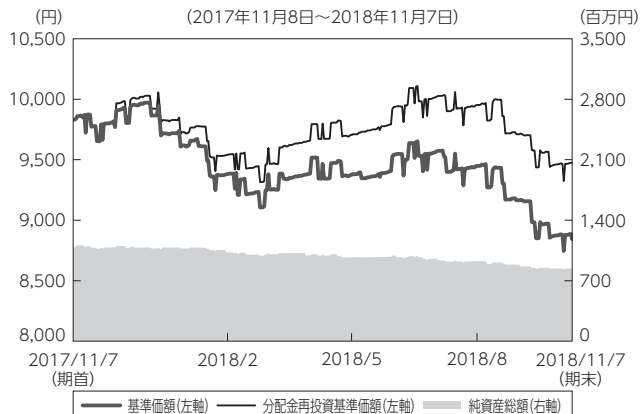
(注) 期中における追加設定元本額は14,287,732円、同解約元本額は35,075,138円です。

## 組入上位ファンドの概要

## SBI債券 スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)

以下は当該ファンドを運用するSBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社からのデータを基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

## 【基準価額等の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年11月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月8日～2018年11月7日)

入手可能な費用明細のデータが存在しないため、掲載しておりません。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年11月7日現在)

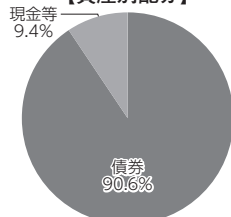
	銘柄名	国(地域)	比率
1	SRILGB 10.6% 2019/7/1	スリランカ	47.5%
2	SRILGB 10.6% 2019/9/15	スリランカ	31.4%
3	SRILGB 10.75 2019/1/15	スリランカ	11.7%
4	-	-	-
5	-	-	-
6	-	-	-
7	-	-	-
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-
組入銘柄数		3銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

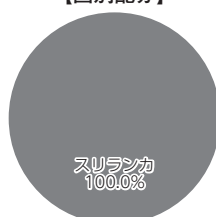
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2018年11月7日現在のものです。

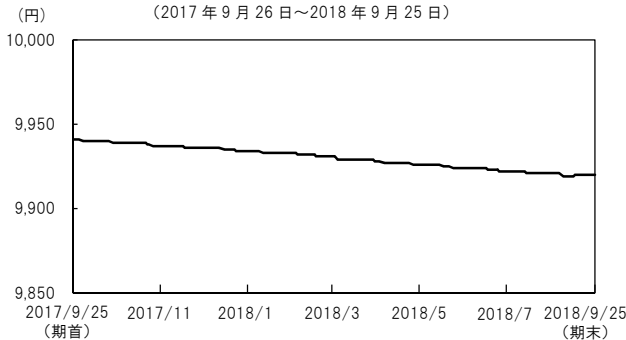
(注2) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書を基に作成しております。

### 【基準価額の推移】



### 【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月26日～2018年9月25日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 信託報酬	14	0.140
( 投信会社 )	( 11 )	(0.108)
( 販売会社 )	( 1 )	(0.011)
( 受託銀行 )	( 2 )	(0.022)
(b) その他費用	0	0.005
( 監査費用 )	( 0 )	(0.002)
( その他 )	( 0 )	(0.002)
合 計	14	0.145

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

### 【組入上位10銘柄】

(2018年9月25日現在)

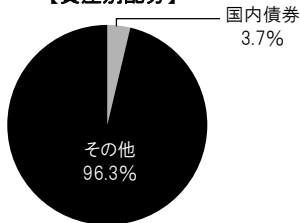
銘柄名	国/地域	比率(%)
1 第316回中国電力株式会社社債	日本	1.2
2 第424回中部電力株式会社社債	日本	1.2
3 第358回中国電力株式会社社債	日本	1.2
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	—	—
8	—	—
9	—	—
10	—	—
組入銘柄数	3銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

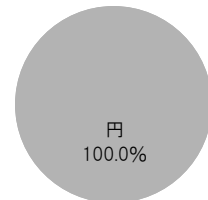
### 【資産別配分】



### 【国別配分】



### 【通貨別配分】



(注1) 基準価額の推移、組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2018年9月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用の明細は、「FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)」の直近の決算期のものです。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

### ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

#### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

#### ○MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI – KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

#### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。